

2022年度第3四半期 決算ハイライト

2023年2月2日

世界が進むチカラになる。



■ キーメッセージ

- 2022年度第3四半期の業務純益は13,815億円（前同比+4,484億円増益）、通期目標15,000億円に対する進捗率は92%。成長戦略に沿った取組みが着実に進捗、顧客部門の営業純益は前同比+3,706億円増益
- MUB株式譲渡決定に伴う会計処理に関連した損失もあり、親会社株主四半期純利益は3,431億円と前同比大幅減益。ただし、当該損失のうち特別利益として第4四半期に戻入になる8,017億円*1を勘案すると、親会社株主四半期純利益は11,449億円*2（進捗率114%）と目標を超過
- 経済環境や金融市場など事業環境の不透明感が継続することから、親会社株主純利益目標1兆円は不変

*1 第3四半期末時点の計数（概算値）。詳細は12ページをご参照 *2 概算値
* 本資料における計数・表記の定義は最終ページに掲載

連結P/L

(億円)	21年1Q-3Q	22年1Q-3Q	増減
1 業務粗利益（信託勘定償却前）	29,508	35,798	6,289
2 資金利益	14,913	23,137	8,223
3 信託報酬+役員取引等利益	11,305	12,479	1,174
4 特定取引利益+その他業務利益	3,289	181	▲3,108
5 うち国債等債券関係損益	661	▲5,723	▲6,385
6 営業費（▲）	20,178	21,983	1,804
7 業務純益	9,330	13,815	4,484
8 与信関係費用総額	▲272	▲4,845	▲4,572
9 株式等関係損益	1,948	2,031	82
10 株式等売却損益	2,007	2,160	152
11 株式等償却	▲58	▲129	▲70
12 持分法による投資損益	3,245	3,576	331
13 その他の臨時損益	▲315	▲6,088	▲5,773
14 経常利益	13,936	8,489	▲5,446
15 特別損益	625	▲645	▲1,271
16 法人税等合計	▲3,263	▲3,815	▲551
17 親会社株主四半期純利益	10,703	3,431	▲7,272
18 MUB株式譲渡時に戻入になる特別利益勘案後	10,703	11,449	745
19 1株当たり利益（円）	83.44	27.69	▲55.75
(ご参考)			
20 ROE（MUFG定義）	9.93%	2.88% ^{*3}	▲7.04%
21 経費率	68.3%	61.4%	▲6.9%

1 業務粗利益

- 貸出利ざや改善や、各国金利上昇局面における外貨預貸金収益増加により、資金利益が増収
- トレジャーリーでは、投信解約益（資金利益）5,404億円を計上するとともに、デリバティブによるヘッジ益を勘案しながら、外債を中心としたポートフォリオ組換えによる売却損（国債等債券関係損益）▲5,723億円を計上
- 結果、業務粗利益は前同比6,289億円増加

2 営業費・経費率

- 営業費は、為替影響^{*1}やMUB売却に伴う会計上の要因^{*2}を除けば、ほぼ横ばい
- 経費率は61.4%に低下

3 与信関係費用総額

- MUB株式の譲渡決定に伴う会計処理に関連した費用（MUB保有貸出金の評価損等）▲4,424億円を計上

4 その他の臨時損益

- MUB株式の譲渡決定に伴う会計処理に関連した損失（MUB保有債券等の評価損等）▲5,176億円を計上

5 親会社株主四半期純利益

- 親会社株主四半期純利益は、前同比▲7,272億円減益の3,431億円となるも、MUB株式譲渡時に戻入になる8,017億円を勘案すると、11,449億円と業績目標を超過

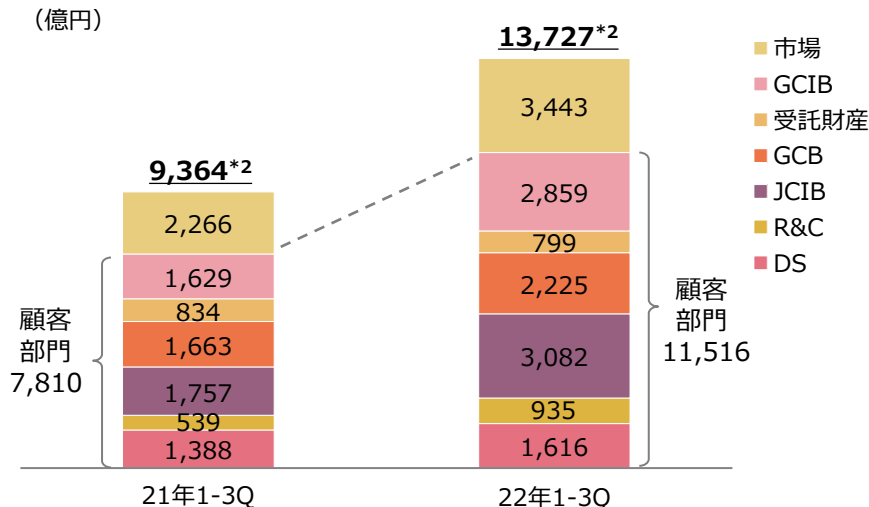
*1 為替影響額は約+1,665億円（概算値） *2 日米会計基準差や連結期間の異なるエンティティを跨ぐ移管に伴う影響 約+200億円（概算値）

*3 MUB株式譲渡時に戻入となる特別利益勘案後は9.3%（概算値）

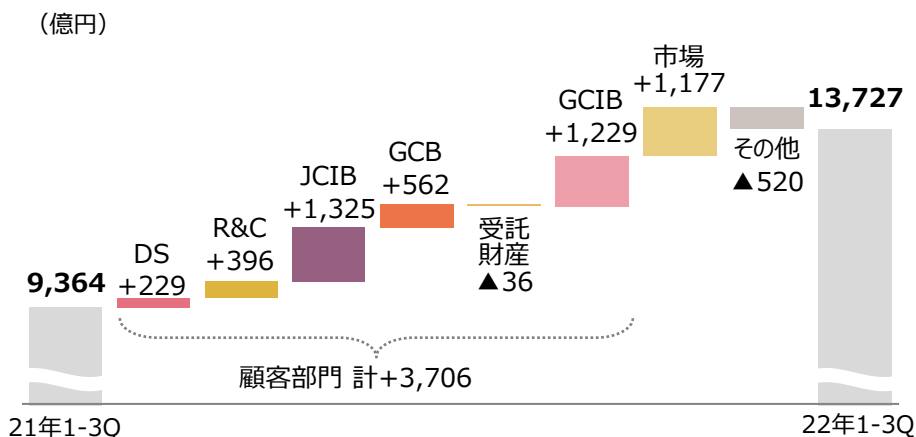
事業本部別業績①

【連結】

事業本部別営業純益*1



営業純益増減内訳



業績概要

- DS** 振込手数料引き下げの影響あるも、CF*3・外為収益の回復、店舗統廃合効果や預金保険料率低下などに伴う経費減により、増益
- R&C** 米金利上昇もあり利鞘が改善した預金収益が増加。加えて相場変動を捉えた外為・為替系デリバティブの収益増、不動産関連収益増などにより、増益
- JCIB** 米金利上昇や利鞘の改善による国内外預貸金収益増や、相場変動を捉えた外為収益増、不動産ファイナンス等の手数料収益増もあり、増益
- GCB** 米国における政策金利の上昇に伴う金利収益増に加え、タイでの貸出好調・利ざやの改善などにより、増益
- 受託財産** グローバルIS*4における案件積み上げが堅調であるものの、前年度のFSI成功報酬剥落に加え、軟調な市況に伴う時価下落影響により、減益
- GCIB** 低調な直接金融市場の反動による旺盛な貸出需要の取り込みとクロスセル取引の積み上げ、米金利上昇による預金収益の増加で増益
- 市場** トレジャリーはリスク量を抑制しつつ機動的な運営を実施、顧客ビジネスは相場変動を捉えたフロー取引増加や前年の海外証券損失の反動等あり増益

*1 社内管理上の連結業務純益 *2 本部・その他 (21年度1-3Q ▲713、22年度1-3Q ▲1,233) を含む

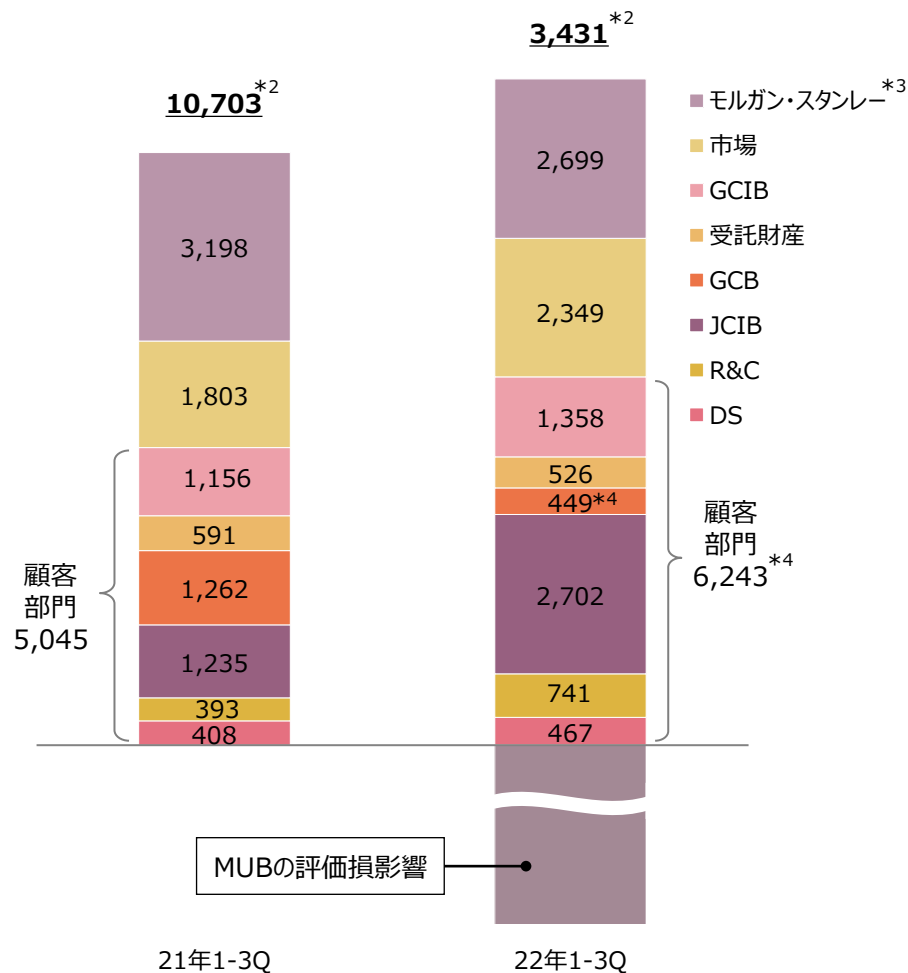
*3 Consumer Finance *4 Investor Services

事業本部別業績②

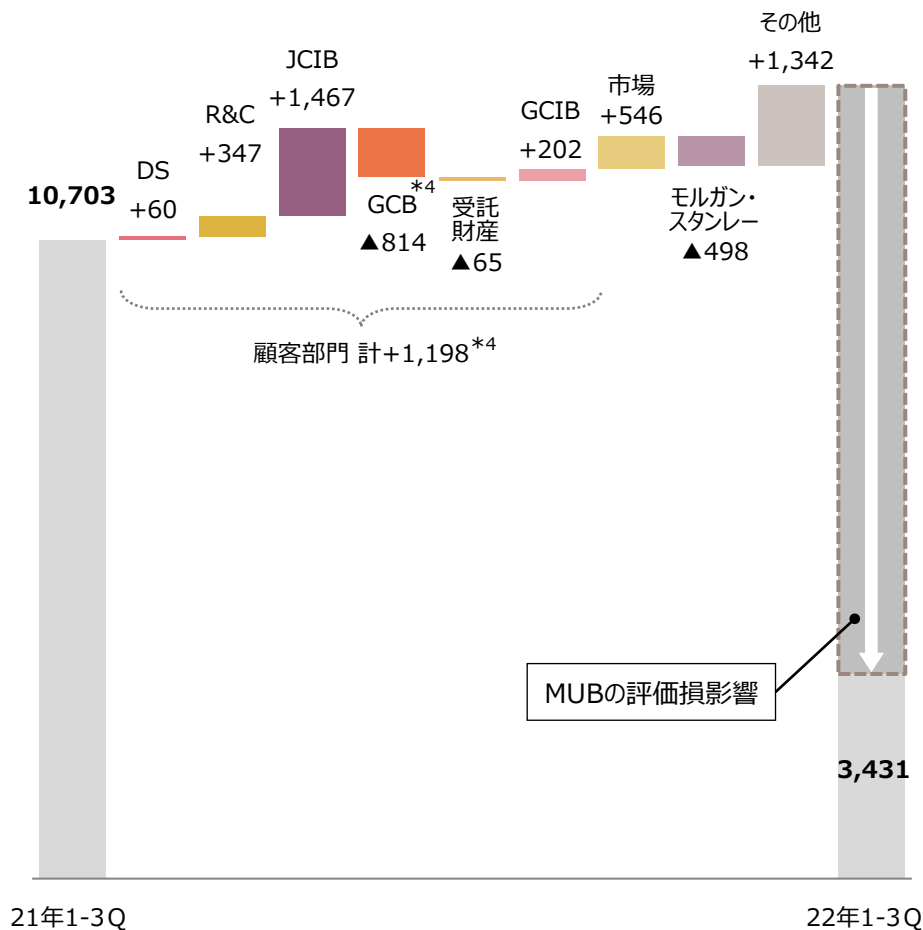
【連結】

事業本部別当期純利益*1

(億円)



(億円)



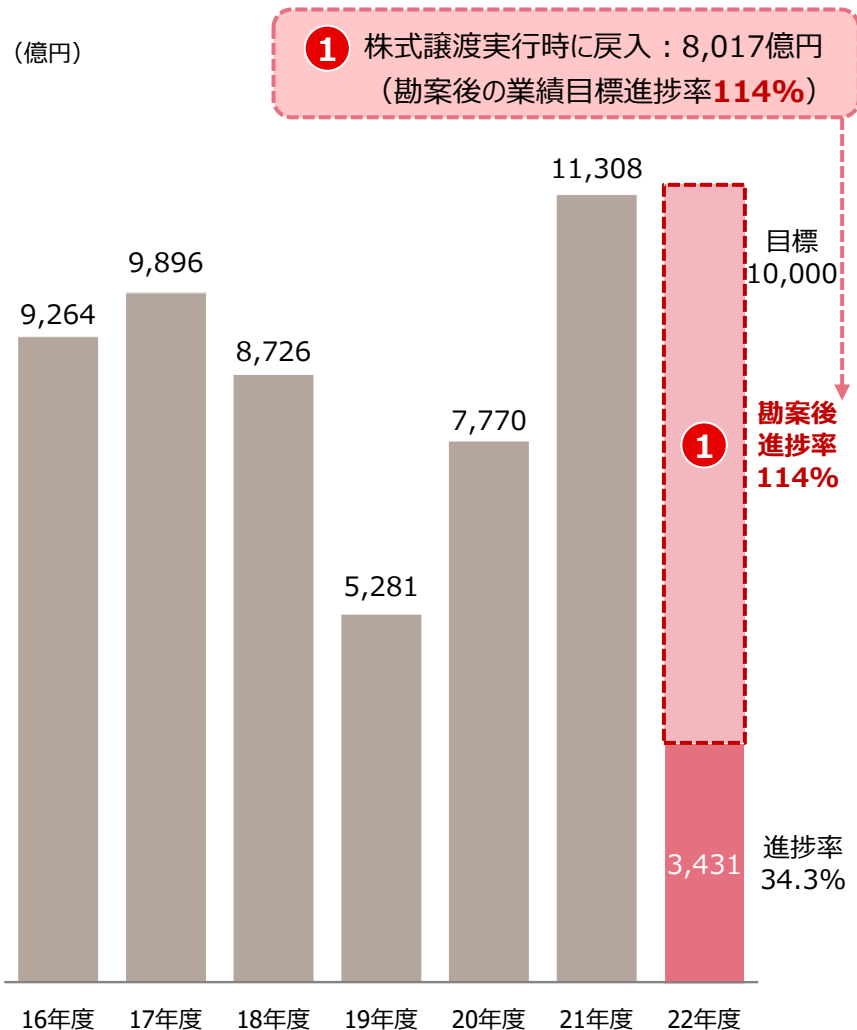
*1 事業本部計数は社内管理上の当期純利益（速報値）。現地通貨ベース *2 その他（21年1-3Q 656億円、22年1-3Q 1,999億円）を含む

*3 持分変動損益（21年1-3Q 368億円、22年1-3Q ▲237億円）を含む *4 MUBの評価損影響を除く

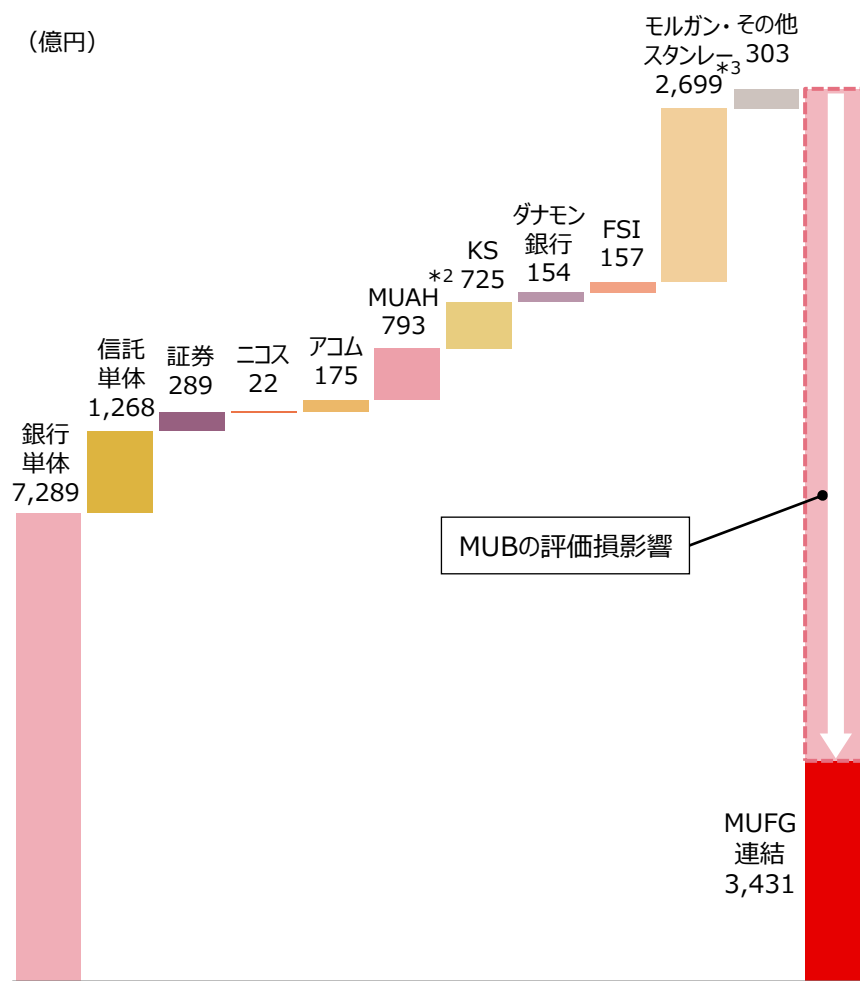
2022年度業績目標進捗率と業態別内訳

【連結】

親会社株主純利益の推移



親会社株主四半期純利益内訳*1



*1 持分比率勘案後の実績 *2 MUBの評価損影響を除く *3 持分変動損▲237億円を含む

連結B/S

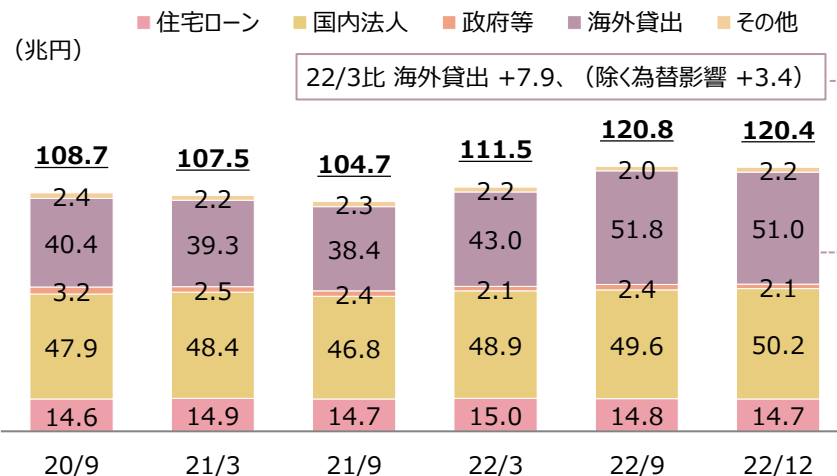
(億円)	22年12月末	22年3月末比
1 資産の部合計	3,913,865	176,546
2 貸出金 (銀行勘定+信託勘定)	1,204,593	89,126
3 貸出金 (銀行勘定)	1,192,328	88,066
4 うち住宅ローン ^{*1}	147,553	▲3,156
5 うち国内法人貸出 ^{*1*2}	502,608	13,204
6 うち海外貸出 ^{*3}	510,350	79,351
7 有価証券 (銀行勘定)	824,437	28,831
8 うち国内株式	49,866	▲4,585
9 うち国債	348,326	16,727
10 うち外国債券	223,552	901
11 負債の部合計	3,736,932	179,496
12 預金	2,203,854	49,581
13 うち個人預金 (国内店) ^{*4}	913,671	30,983
14 うち法人等預金 ^{*4}	768,520	▲31,548
15 うち海外店その他子会社等預金	521,661	50,146
16 純資産の部合計	176,932	▲2,949
17 銀行法及び再生法に基づく債権 ^{*5}	13,777	▲940
18 不良債権比率	1.02%	▲0.16%
19 その他有価証券評価損益	8,009	▲15,909

*1 2行合算+信託勘定 *2 政府等向け貸出除く、外貨建貸出を含む (除く為替影響: 22年3月末比 +0.8兆円)

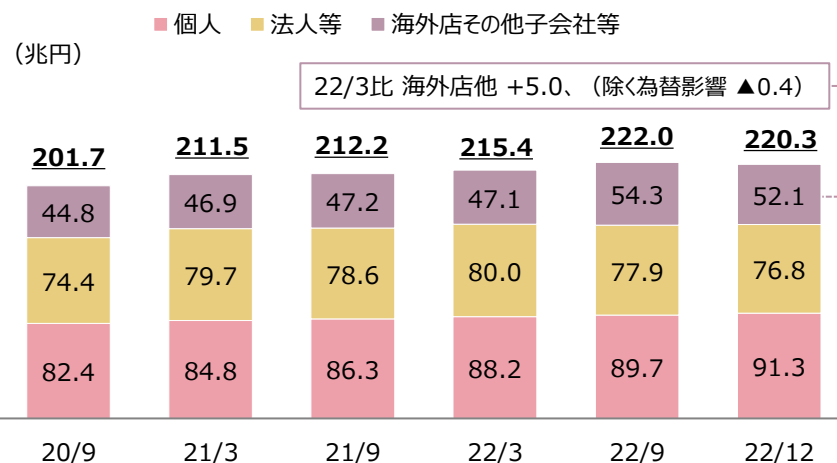
*3 海外支店+MUAH+KS+ダナモン銀行+MUFGバンク(中国)+MUFGバンク(マレーシア)+MUFGバンク(ヨーロッパ) *4 2行合算

*5 正常債権を除く

貸出金推移 (未残)



預金推移 (未残)

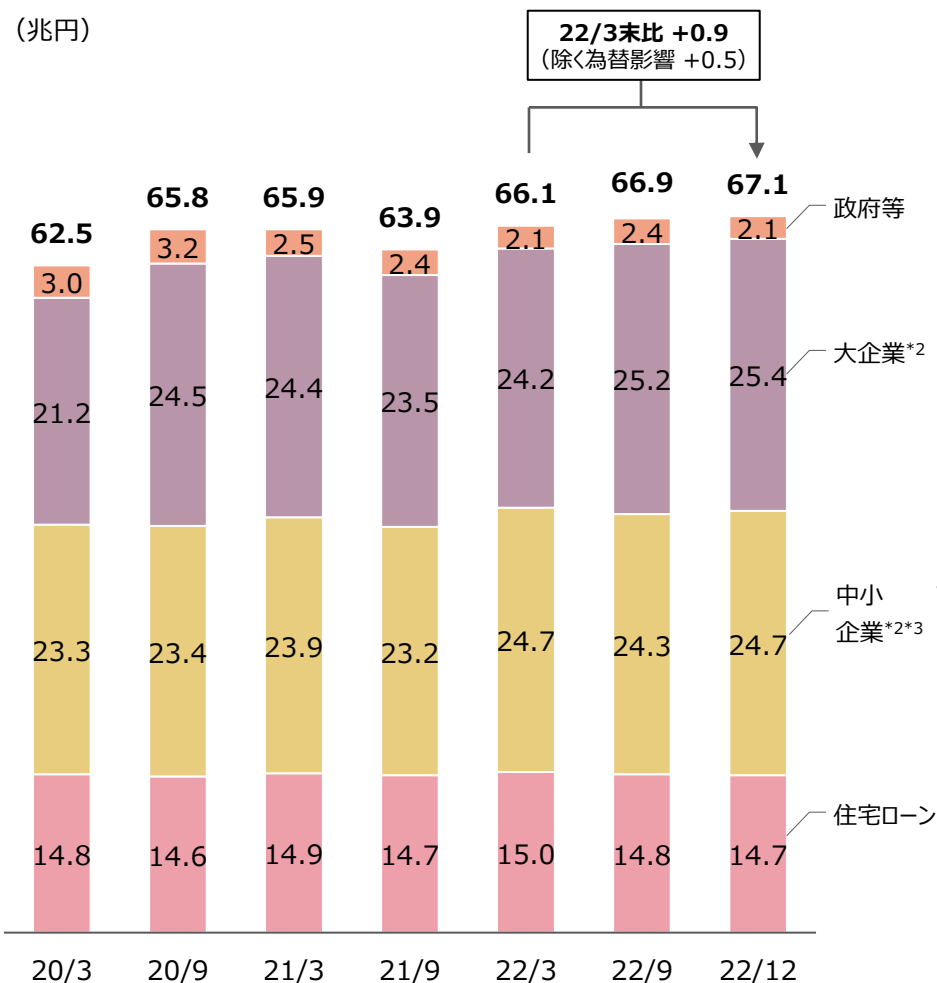


国内貸出金

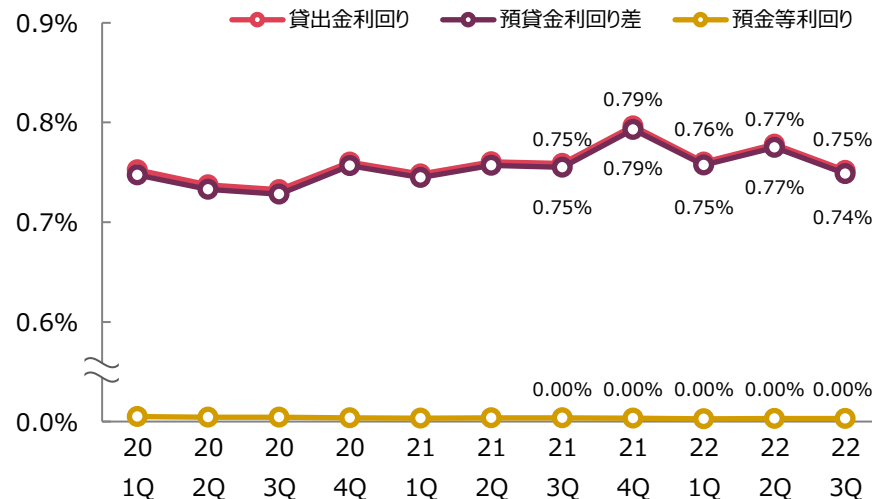
【連結・2行合算】

貸出金（未残）*1

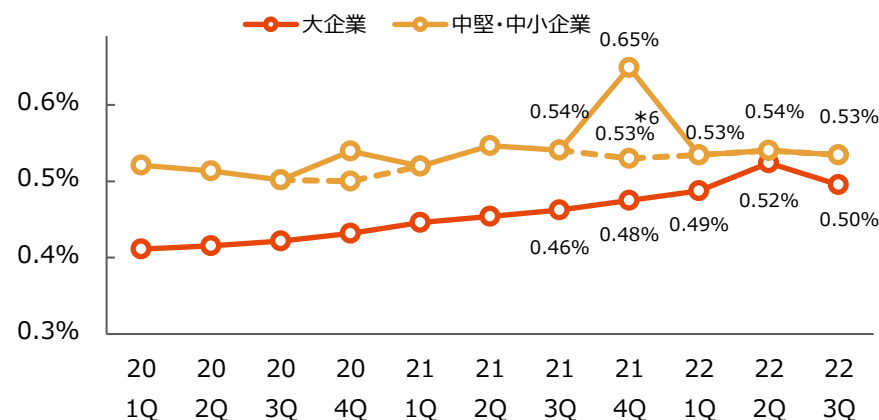
(兆円)



国内預貸金利回りの推移*4



国内法人貸出利ざや*2 *4 *5



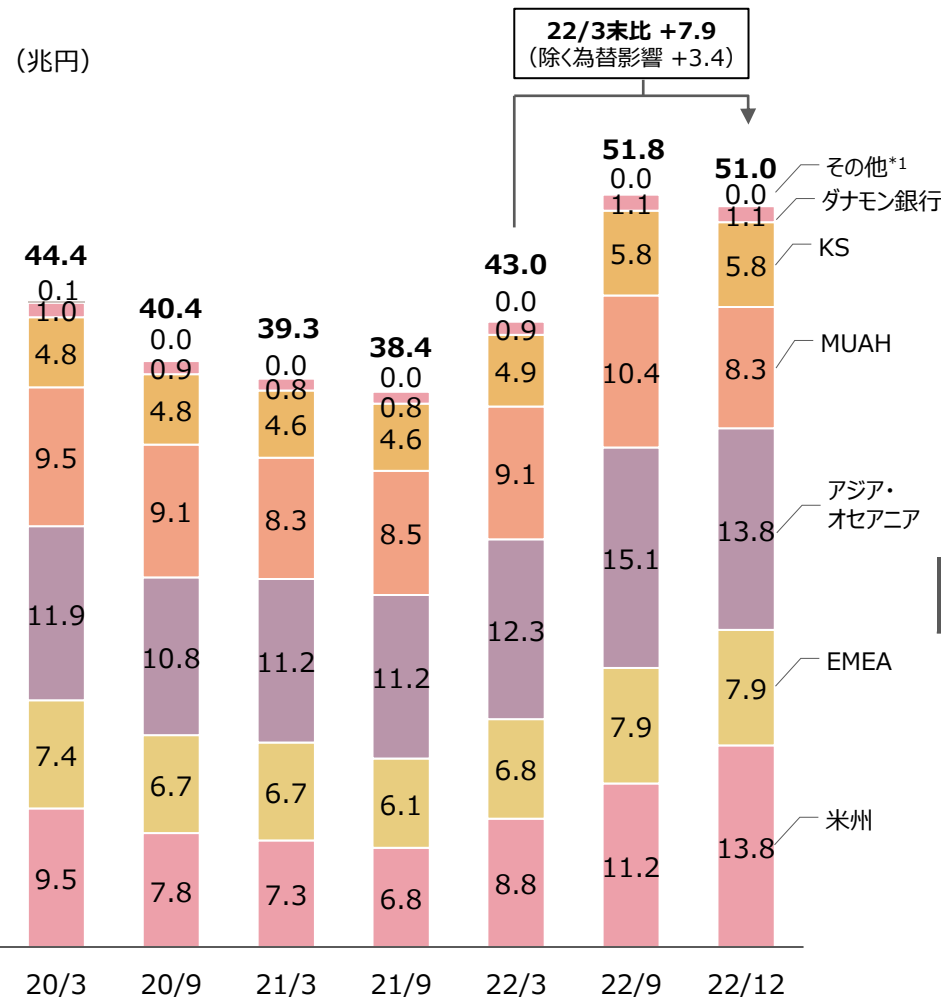
*1 銀行勘定+信託勘定 *2 外貨建貸出を含む *3 中小企業等貸出金-消費者ローン *4 政府等向け貸出を除く *5 社内管理上の計数。2行合算
*6 期末の利子補給一括計上の影響除き

海外貸出金

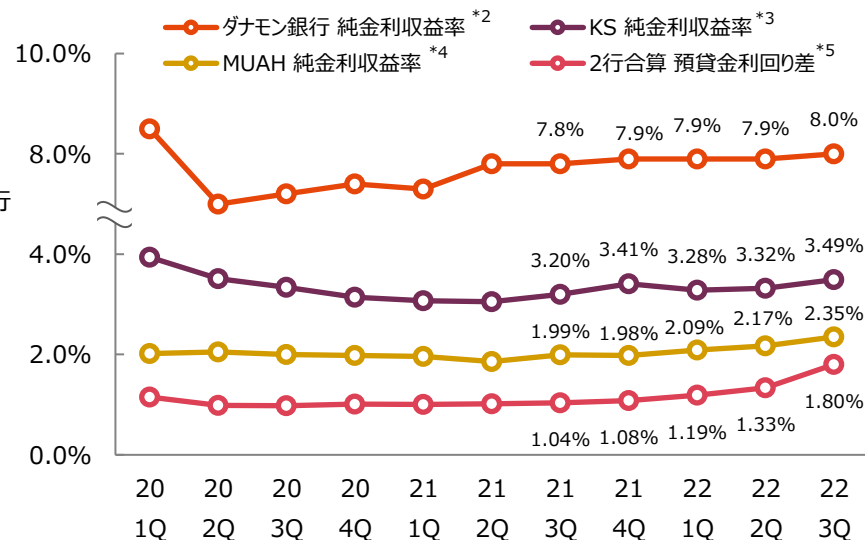
【連結・2行合算】

貸出金（未残）

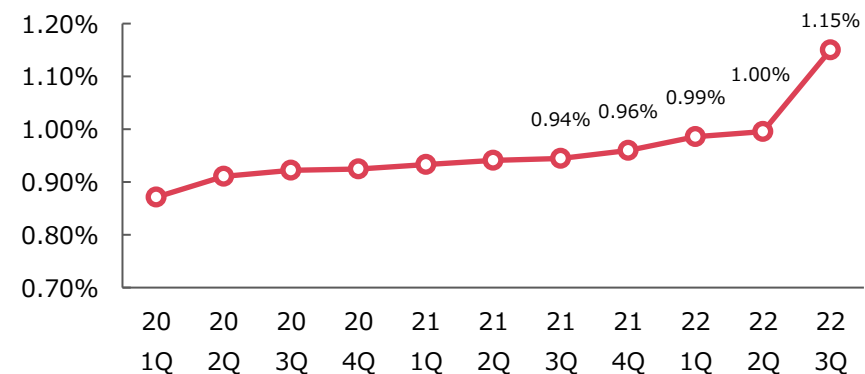
(兆円)



海外利回り等の推移



海外貸出利ざや*5



*1 特別国際金融取引勘定等

*2 インドネシア会計基準に基づくダナモン銀行の決算報告書における財務情報。21年度1Qより算出方法を変更し、本資料では過去分についても遡及修正

*3 タイ会計基準（2020年1月1日よりIFRS 9を適用開始）に基づくKSの決算報告書における財務情報

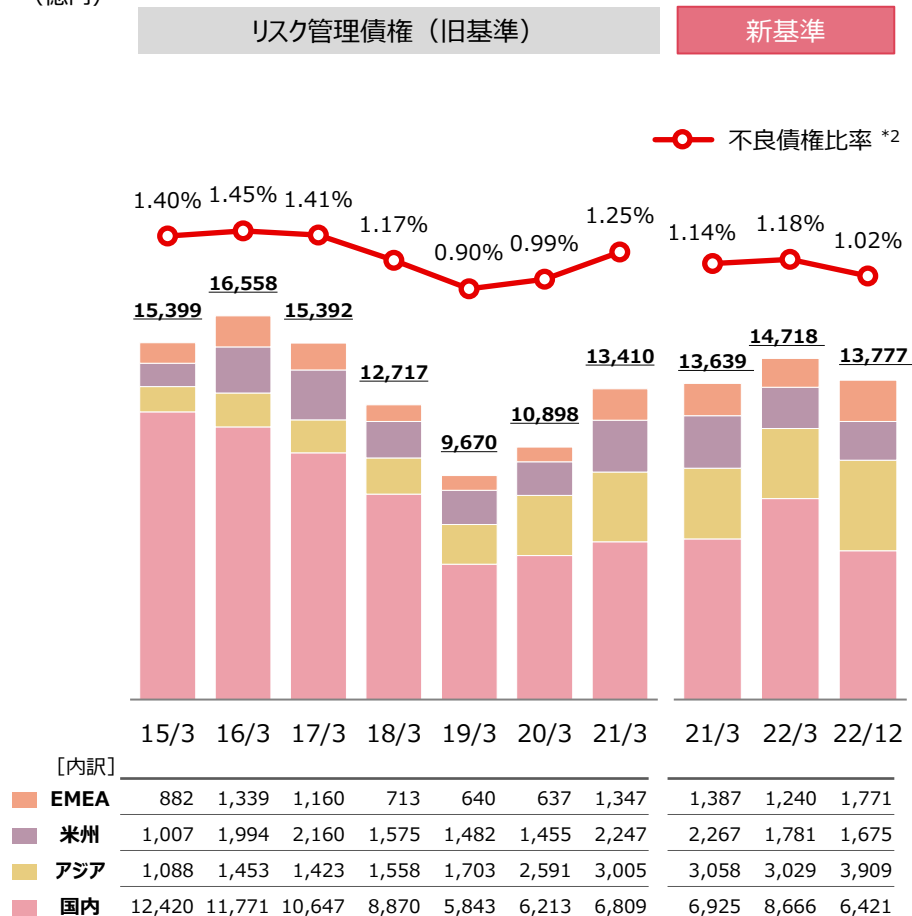
*4 米国会計基準に基づく財務情報。売却目的保有に分類された残高を含む *5 社内管理上の計数。2行合算

貸出資産の状況

【連結】

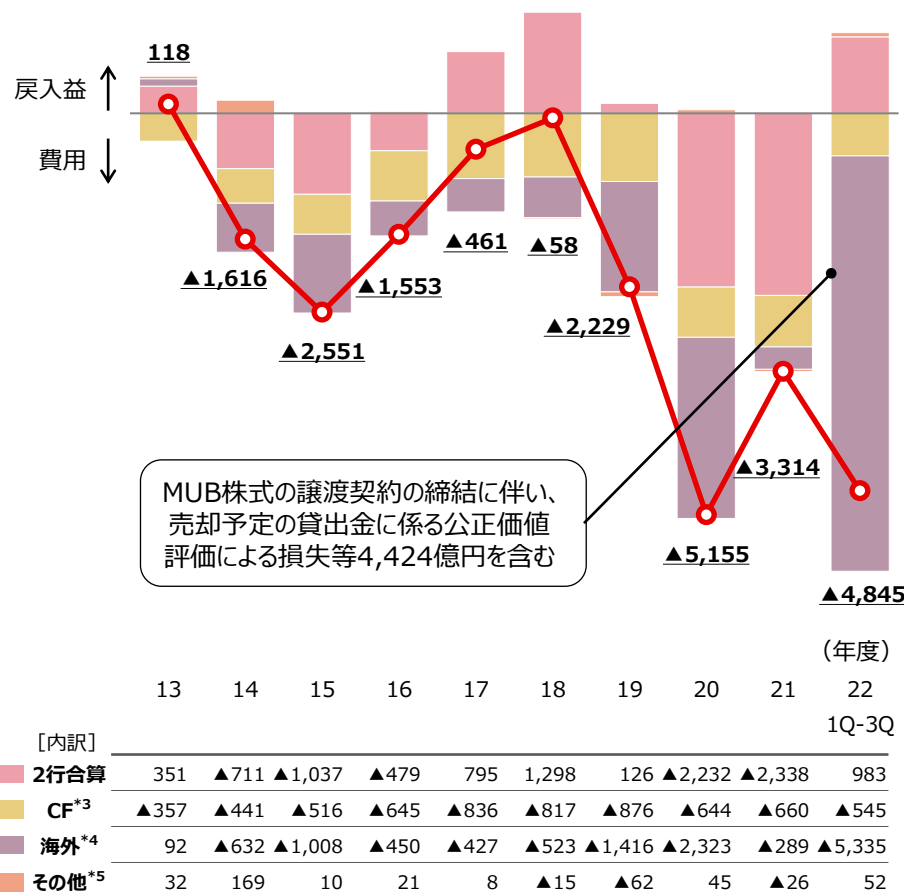
銀行法及び再生法に基づく債権（正常債権を除く）*1

(億円)



与信関係費用総額

(億円)



MUB株式の譲渡契約の締結に伴い、売却予定の貸出金に係る公正価値評価による損失等4,424億円を含む

*1 「リスク管理債権」の定義が「金融再生法開示債権」の定義と同一となったため、銀行法及び再生法に基づく債権として開示。地域は債務者の所在地による区分

*2 銀行法及び再生法に基づく債権（正常債権を除く）残高 ÷ 銀行法及び再生法に基づく債権残高（旧基準はリスク管理債権残高 ÷ 貸出金残高（銀行勘定、未残））

*3 ニコスとアコムとの連結ベース合算 *4 銀行および信託の海外連結子会社の合算。子会社の決算日（2022年9月末）の財務諸表により連結している主要な在外子会社の2022年12月期第4四半期（2022年10月～12月）における与信関係費用総額は、現時点の見積もりでは、総額4百億円程度の戻入れが発生する見込み。当該与信関係費用総額はMUFUGの2023年3月期第4四半期連結財務諸表に反映される予定 *5 その他子会社および連結調整等

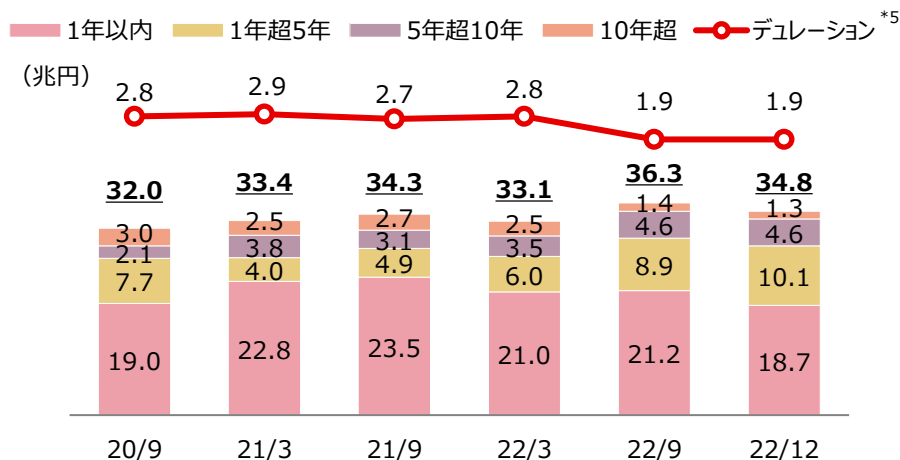
保有有価証券の状況

【連結・2行合算】

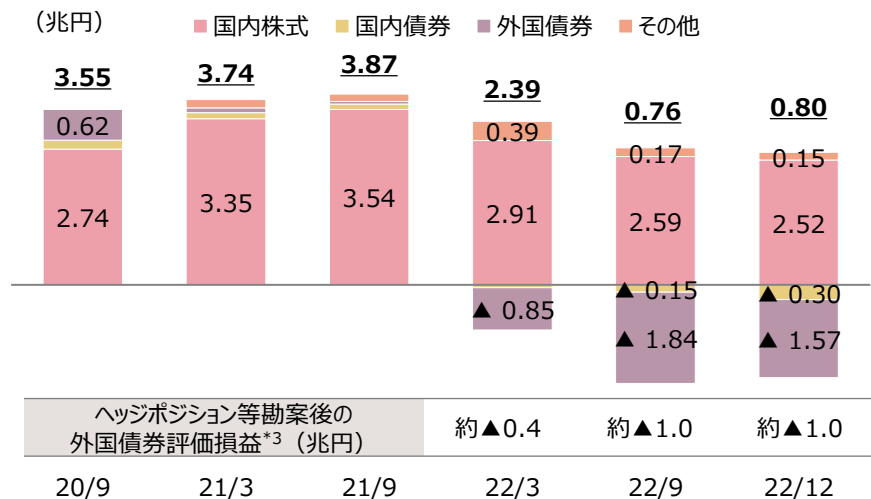
有価証券（時価あり）の内訳*1

(億円)	22年12月末残高		評価損益	
	22/3末比	22/3末比	22/3末比	22/3末比
1 満期保有目的	178,431	132,480	-	-
2 その他有価証券	642,594	▲106,502	8,009	▲15,909
3 国内株式	41,334	▲4,802	25,261	▲3,879
4 国内債券	312,599	▲91,737	▲3,062	▲2,444
5 うち国債	239,727	▲74,390	▲2,115	▲1,561
6 その他	288,660	▲9,963	▲14,189	▲9,585
7 うち外国株式	4,521	2,335	▲208	▲486
8 うち外国債券	189,887	▲30,417	▲15,711	▲7,182 ^{*2}
9 その他	94,251	18,119	1,730	▲1,916

国債の残存期間別残高（2行合算）*4



その他有価証券評価損益の推移



政策保有株式の売却実績（概数）*6

(億円)	売却額	取得原価ベース	売却損益
15-20年度合計	15,450	8,700	6,750
21年度	4,700	1,690	3,010
22年度 1-3Q	2,770	950	1,820
21-23年度 売却目標		5,000	
未売却の売却合意残高*7 (22/12末)	-	1,850	-

*1 評価損益は、MUB株式の譲渡契約の締結に伴い損益に反映させた額▲5,947億円を除く *2 為替影響除きでは約▲0.6兆円 *3 社内管理上の計数
*4 その他有価証券および満期保有目的の国債 *5 その他有価証券。単位：年 *6 銀行・信託の単純合算 *7 23年度までの売却予定分

(ご参考) MUB保有債券等の評価損について

MUB保有資産の時価評価と会計上の取扱い

- 第3四半期決算においてMUB保有債券等の評価損▲10,448億円*1を計上。実施済のヘッジ取引により848億円の収益計上
- ただし、当該評価損のうち、① 其他有価証券の税効果相当や ② 満期保有目的の有価証券等、及び ③ 貸出金は通期決算においては特別利益として戻入となる見込*2
- 戻入とならない評価損についてもヘッジ取引を行っているため、通期決算に与える影響は税効果勘案後約▲1,600億円*3

(億円)	勘定科目	1-3Q影響	株式譲渡 実行時に戻入	通期影響 (見込・概数)	特別利益として戻入		会計上の取扱い
					評価損影響	特別利益として戻入	
① 其他 有価証券	その他の 臨時損益	▲3,290	858	▲2,200	▲3,000	800	<ul style="list-style-type: none"> ■ 評価損を四半期ごとにPL計上 ■ 税効果分を、株式譲渡時に特別利益計上
② 満期保有 目的債券等	その他の 臨時損益	▲2,734	2,734	0	▲2,600	2,600	<ul style="list-style-type: none"> ■ 評価損を四半期ごとにPL計上 ■ 全額を、株式譲渡時に特別利益計上
③ 貸出金	与信関係 費用総額	▲4,424	4,424	0	▲3,900	3,900	
小計		▲10,448	8,017	▲2,200	▲9,500	7,300	
④ ヘッジ取引 損益	その他の 臨時損益	848		850			
MUFG決算への影響 (税前)		▲9,600		▲1,350			
MUFG決算への影響 (税後)		▲9,860		▲1,600			

*1 FY22 1-3Qは1ドル=144.81円で計算 *2 評価損計上による売却対象資産の簿価低下等により、株式譲渡実行時に特別利益を計上する見込。当該評価損による特別利益もあり、通期決算におけるMUB株式売却益は700億円となる見込 (概算値) *3 1ドル=132.70円で計算

ディスクレーム

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。

かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし前提（仮定）は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。

そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。

本資料における計数・表記の定義

- 親会社株主四半期純利益 : 親会社株主に帰属する四半期純利益
- ROE (MUFG定義) :
$$\frac{\text{親会社株主四半期純利益} \div 3 \times 4}{\{ (\text{期首株主資本合計} + \text{期首為替換算調整勘定}) + (\text{期末株主資本合計} + \text{期末為替換算調整勘定}) \} \div 2}$$
- 与信関係費用総額 : 与信関係費用（信託勘定） + 一般貸倒引当金繰入額 + 与信関係費用（臨時損益） + 貸倒引当金戻入益 + 偶発損失引当金戻入益（与信関連） + 償却債権取立益
- 連結 : 三菱UFJフィナンシャル・グループ（連結）
- 2行合算 : 三菱UFJ銀行（単体）と三菱UFJ信託銀行（単体）の単純合算
- DS : デジタルサービス事業本部
- R&C : 法人・リテール事業本部
- JCIB : コーポレートバンキング事業本部
- GCB : グローバルコマーシャルバンキング事業本部
- 受財 : 受託財産事業本部
- GCIB : グローバルCIB事業本部
- 市場 : 市場事業本部
- 銀行 : 三菱UFJ銀行
- 信託 : 三菱UFJ信託銀行
- 証券 : 三菱UFJ証券ホールディングス
- ニコス : 三菱UFJニコス
- MUAH : 米州MUFGホールディングス
- MUB : MUFGユニオンバンク
- KS : クルンシィ（アユタヤ銀行）
- FSI : First Sentier Investors